

作成日：2012 年 04 月 01 日  
改訂日：2023 年 04 月 01 日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名 称: ショーボンド SBソフトシール  
会 社 名: ショーボンドマテリアル株式会社  
住 所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10  
担 当 部 門: 品質保証課  
電 話 番 号: 049-225-5611 F A X: 049-225-5616  
緊急連絡先: 品質保証課 電 話 番 号: 049-225-5611  
整 理 番 号: SBソフトシール -04

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類: 該当しない

#### GHSラベル要素

絵表示またはシンボル なし  
注意喚起語: なし  
危険有害性情報: 該当しない

#### 注意書き:

予防策: 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。  
屋外または換気の良い場所で使用すること。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
環境への放出を避けること。  
対応: 取り扱い前に、必ず「製品安全データシート」を読んで、注意して取り扱ってください。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
目に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
漏出物は回収すること。  
保管 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。  
廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成 分)	官報公示整理番号 化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
スズ化合物	社外秘	社外秘	1～5
高沸点炭化水素	社外秘	社外秘	1～5

#### 4. 応急処置

目に入った場合:	直ちに清浄な多量の水で最低 15 分間洗い流した後、速やかに専門医の手当てを受ける。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹸でよく洗う。付着物を布にて拭き取る。 外観に変化が見られたり、かゆみや炎症がある場合には専門医の手当てを受ける。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で安静にさせる。 直ちに医師に連絡し、医師の手当、診断を受ける。 呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸(又は、酸素吸入)を行う。
飲み込んだ場合:	水で口の中を良く洗い、医師の診察を受ける。無理に吐かせてはならない。 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

#### 5. 火災時の措置

消火剤:	粉末ドライケミカル、乾燥砂、二酸化炭素、泡消火剤
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の消火方法:	火災が広がったときは大量の噴霧水で消火する。消火活動は可能な限り風上から行う。 可燃性のものをすばやく周囲から取り除く。
消火を行うものの保護:	消火者は必ず適切な保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	付近の着火源、高温体および付近の可燃物をすばやく取除き、風下の人を避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	漏出液を下水や側溝等に流してはならない。 少量漏出の場合にはウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
回収・中和、封じ込み及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。 乾燥砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できるから容器に回収する。
二次災害の防止策:	付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 関係箇所に通報し応援を求める。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :	
技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
局所排気・全体換気:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
安全な取り扱い注意事項:	周辺で火気の使用、発生のないこと。 使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。 ホームページアドレス: <a href="https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html">https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html</a> すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。 取扱い後は、よく手を洗うこと。
接触回避:	「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

技術的対策： 保管場所には、危険・有害物を貯蔵・取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

保管条件： 幼児の手の届かない所に置くこと。直射日光を避ける。  
火気、熱源から遠ざける。  
通風を良くし、ガス又は蒸気が滞留しないように容器を密閉して保管する。

混色禁止物質： 情報なし

容器包装材料： 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
スズ化合物	—	—	TWA 0.1mg/m <sup>3</sup> (Snとして) STEL 0.2mg/m <sup>3</sup> (Snとして)

設備対策： 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものを置かないような設備とすること。  
密閉場所で作業する場合には、局所排気装置を取り付けること。  
防災シャワー、手洗い、洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具： 必要に応じて保護マスクや防じんマスク等の呼吸用保護具を着用する。

手の保護具： 保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 保護衣

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等： ペースト

色： 白色

臭い： 特異臭

融点／凝固点： データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし

可燃性： データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： データなし

引火点： 100℃以上

自然発火温度： データなし

分解温度： データなし

pH： データなし

動粘性率： 200～500Pa・s

溶解度： 水に難溶

n-オクタノール／水分配係数(log値)： データなし

蒸気圧： データなし

密度及び／又は相対密度： 1.45 g/cm<sup>3</sup>

相対ガス密度： データなし

粒子特性： データなし

その他情報： データなし

10. 安定性および反応性

安定性： 空気中の水分と反応する。

反応性： 通常の条件では危険な反応は起こらない。

避けるべき条件： 高温多湿な場所での保管

混触危険物質： 酸、強酸、塩基、強塩基

危険有害な分解生成物： 該当なし

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	スズ化合物	LD50 >2000mg/kg
急性毒性（経皮）	スズ化合物	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	スズ化合物	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵/ミスト）	スズ化合物	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性	スズ化合物	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	スズ化合物	区分 2B
呼吸器感作性または皮膚感作性	スズ化合物	呼吸器感作性：分類できない
生殖細胞変異原性	スズ化合物	区分に該当しない
発がん性	スズ化合物	分類できない
生殖毒性	スズ化合物	分類できない
特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	スズ化合物	分類できない
特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	スズ化合物	分類できない
誤えん有害性	スズ化合物	分類できない

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）：	情報なし
生態毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壌中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物（廃液と廃プラスチック類の混合物）として許可を受けた専門業者に委託する。  
乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。  
容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。  
容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。  
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。  
国連番号：該当しない  
国連分類：該当しない

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：	
[表示対象物質]	すず及びその化合物
[通知対象物質]	すず及びその化合物
毒物劇物取締法：	非該当
P R T R 法：	
[第 1 種指定化学物質]	非該当
[第 2 種指定化学物質]	非該当
消防法：	指定可燃物 合成樹脂類（その他のもの）
労働基準法：	非該当

## 16. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。  
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。  
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

## 参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS) : J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成18年5月 (社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料／製品メーカーMSDS (SDS)